

ご 注 意

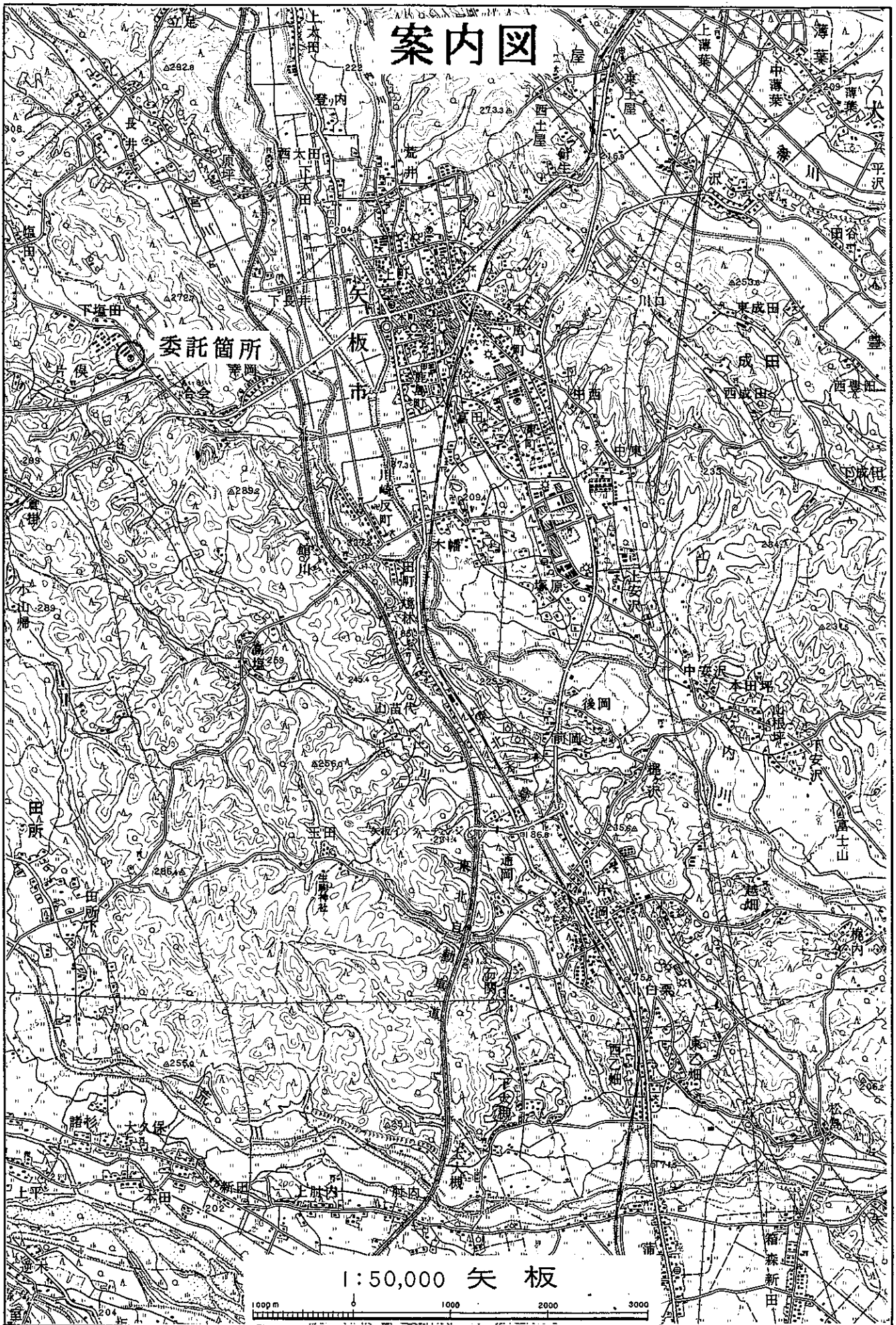
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

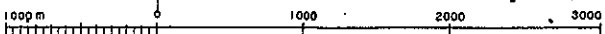
案内図



委託箇所

矢板市

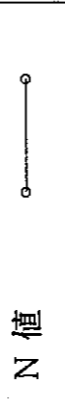
1:50,000 矢板



土質柱状図

調査名 梶立矢板高校情報工業棟新築工事地質調査
 調査位置 矢板市片俣
 調査年月日 平成 4年 1月14日
 地点番号 NO.1
 標高 KBM-2.289 m
 標 高 GL -6.34 m
 機 種
 担当者名

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観 察 記 録			深さ m	標 準 貫 入 試 験			採取試料・原位置記録	方 法	
				土質記号	土質名	色 調		記 事	打撃回数/貫入量	10cmごとの打撃回数			試料番号
1													
2				盛土			砂礫、ローム、等の盛土 0.35mよりロームで粘性大、有機物混入する。	2/39	1/22	1/17			
3	-5.64	3.35	3.35					2/41	1/23	1/18			
4	-5.99	3.70	0.35	有機質シルト	暗黒色		植物の根、有機物混入	3/32	1/20	1/7			
5				砂質ローム	茶褐色		所々径2~3mm位の礫石混る。 有機物混入。 6.00mより浮石混入。	5/32	2	2			
6								3/34	1/15	1/11			
7								3/31	1/13	1			
8	-9.63	7.40	3.70	粘土	灰褐色		粘性大、有機物混入。	1/65	0	0			
9	-10.93	8.70	1.30	粘土質細砂	褐灰色		全体的に粘土質呈し、若干の粘性有り。 径5~10mm内外の礫石混入多く、径50~100mm位存在する。	1/50	0/30	1/20			
10	-11.99	9.70	0.50	礫混じり中粗砂	褐灰色			17/31	4	6			
11	-12.64	10.35	0.65	細砂	黄褐色			29/30	2	3			
12				玉石混じり砂礫	褐青色		主体礫径5~30mm内外で所々径100~200mmの玉石介在する。	50/20	11	39			
13								50/12	39	11/2			
14	-16.84	14.55	4.20					50/9	50	9			
15				凝灰質砂礫	褐灰青色		礫径5~90mm主体、径80mm内外介在有り。 所により礫密集している。	50/24	18	26			
16	-18.74	16.45	1.90					36/30	11	10			
								36/30	14	12			
								36/30	16.45	10			



土質柱状図

調査名 県立矢板高校情報工業棟新築工事地質調査

調査年月日 平成 4年 1月21日

調査位置 矢板市片保

～ 平成 4年 1月24日

地点番号 NO.2

標高 KBM-3.329 m

機種

総掘進長 19.35 m

孔内水位 GL-6.72 m

担当者名

標尺 m	標高 m	層厚 m	観察記録			深さ m	打撃回数/貫入量	標準貫入試験			採取試料・原位試験	方 法	
			土質記号	土質名	色調			記 事	10cmごとの 打撃回数	深さ m			試料 番号
1			盛土	茶褐色	礫、ローム等。 0.20mよりロームで有機物混入。 赤褐、暗黒色混る。 2.40m付近暗灰色を呈し、木片混入ある。	1.15	2/47	10cm 1/25	20cm 1/22	30cm 1/14			
2				暗黒色	植物の根混入する。	1.82 2.15	2/36	10cm 1/22	20cm 1/14	30cm 3/13			
3	-6.18	2.85	有機質シルト			3.15	5/32	10cm 1/11	20cm 1/6	30cm 2/13			
4	-6.73	3.40				3.47	4/30	10cm 1/1	20cm 1/8	30cm 2/12			
5						4.45 5.00	2/55	10cm 0/25	20cm 1/18	30cm 1/12			
6						5.55 6.15	5/30	10cm 1/1	20cm 2/2	30cm 2/2			
7			ローム	茶褐色	有機物混入。 7.00m付近少量の浮石混入有り。 全体的に若干砂質呈す。	6.45 7.15	4/32	10cm 1/1	20cm 1/8	30cm 2/14			
8						7.47 8.00	2/32	10cm 0/25	20cm 1/17	30cm 1/17			
9						8.82 9.15	3/38	10cm 1/17	20cm 1/11	30cm 1/1			
10						9.53 10.00	2/51	10cm 0/30	20cm 1/13	30cm 1/8			
11	-13.88	10.55	ローム質細砂	茶褐色	全体的にローム質呈す。径10mm内外の礫混る。含水多い。1.40~11.60m間礫混入多し。	10.51 11.15	4/32	10cm 1/8	20cm 1/13	30cm 2/8			
12	-15.08	11.75	粘土	黄褐色	粘性強い。	11.47 12.00	11/50	10cm 0/30	20cm 4/4	30cm 7/7			
13	-16.68	13.35	凝灰質砂礫	褐青色	礫径5~30mm主体で、80mm内外混入有り。1.2.00m付近凝灰質粘土混入する。1.2.70~12.90m間凝灰質砂礫。	12.50 13.15	50/28	10cm 7/7	20cm 6/6	30cm 37/8			
14						13.43 14.15	50/15	10cm 23/23	20cm 27/5	30cm 50/5			
15						14.30 15.05	50/5	10cm 50/5	20cm 50/5	30cm 50/9			
16						15.10 16.05	50/9	10cm 50/9	20cm 50/9	30cm 50/5			
17			玉石混じり砂礫	褐青色	主体礫径5~30mm, 100~200mm程度の玉石混入する。	16.14 17.05	50/5	10cm 50/5	20cm 50/5	30cm 50/9			
18						17.10 18.10	50/9	10cm 50/9	20cm 50/9	30cm 50/9			
19	-22.68	19.35				18.19 19.20 19.35	50/15	10cm 32/32	20cm 18/5	30cm 18/5			

土質柱状図

調査名 県立矢板高校情報工業棟新築工事地質調査

調査年月日 平成 4年 2月 日

調査位置 矢板市片保

～ 平成 4年 2月 日

地点番号 NO.5

標高 KBM-3.213 m

機種 口一タリ一式

標高 21.23 m

孔内水位 GL -6.40 m

担当者名

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録		深さ m	標準貫入試験		N値	試料番号	測定番号	採取試料・原位試験	方法
				土質記号	土質名		色調	記事					
1						1.15	2/30	1					
2				盛土	暗茶色	1.45	2/40	1/20					
3	-6.16	2.95	2.95	有機質シルト	黒褐色	2.15	2/30	1/15					
4	-6.91	3.70	0.75	ローム	暗茶色	3.15	7/30	2					
5	-8.01	4.80	1.10			3.45	1/40	1/40					
6						4.15	6/30	2					
7						4.45	4/30	1					
8						5.15	2/35	1/15					
9						5.55	3/30	1					
10	-13.41	10.20	5.40	凝灰質粘土	暗茶色	6.15	8/30	2					
11	-13.96	10.75	0.55	凝灰質粘土	暗茶色	6.45	9/30	4					
12	-14.46	11.25	0.50	凝灰質粘土	暗茶色	7.15	11/30	3					
13	-15.01	11.80	0.55	凝灰質粘土	暗茶色	7.45	7/30	2					
14	-15.81	12.60	0.80	砂質粘土	黄灰色	8.15	50/11	41					
15	-16.81	13.60	1.00	砂質粘土	黄灰色	8.50	50/9	50					
16						9.15	50/5	50					
17						9.45	50/8	50					
18						10.15	50/13	38					
19						10.45	50/9	50					
20						11.15	44/12	31					
21	-24.44	21.23	7.83			11.45	50/8	50					